

平成23年度

とちぎの元気な森づくり県民税事業

評価報告書



平成24年10月

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

目 次

● 総合評価	・・・・・・・・	p 1
● 平成23年度事業実績概要	・・・・・・・・	p 2
1. とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業	・・・・・・・・	p 3
2. 明るく安全な里山林整備事業	・・・・・・・・	p 5
3. 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業	・・・・・・・・	p 7
4. とちぎ森づくり情報センター事業	・・・・・・・・	p 9
5. とちぎ「森の染校(がっこう)」事業	・・・・・・・・	p10
6. とちぎの元気な森づくり県民会議事業	・・・・・・・・	p11
7. とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業	・・・・・・・・	p12
8. とちぎの元気な森づくり県民広報事業	・・・・・・・・	p13
9. 森づくり活動地域支援事業	・・・・・・・・	p14
10. 木の香る環境づくり支援事業	・・・・・・・・	p15
11. 特色ある緑豊かな地域推進事業	・・・・・・・・	p16

(資 料)

● 各事業関係資料	・・・・・・・・	p18
● 税事業の実施方法及び今後のあり方に関する主な意見	・・・・・・・・	p76
● とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会	・・・・・・・・	p77

総 合 評 価

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会では、税の使途の透明性・公平性を確保するため、これまで現地調査を含め2回の委員会を開催し、平成23年度税事業の執行状況や効果について検証・評価を行ってきた。

その結果を、ここに評価報告書として取りまとめたので、今後とも、この税による森林の公益的機能の維持、増進への取組が、県民の皆様にとってより良いものとなるよう、本報告書に基づき一層推進されることを期待する。

□評価

- 平成23年度に実施された、奥山林整備、里山林整備、森を育む人づくりのすべての事業について、概ね効果的、効率的に執行されているものと認められる。

引き続き、「有効性」、「効率性」、「進ちょく度」に十分配慮し、事業の適正な執行に努めること。

□個別の課題・改善点

■とちぎの元気な森づくり県民広報事業について

- 県民への広報について、インターネットを活用するなど、より効果的な方法を検討すること。

平成24年10月

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

● 平成23年度事業実績概要

	(計 画 額)	(実 績 額)
(1) 財源	889,866 千円	911,000 千円

	(計 画)	(実 績)
1 とちぎの元気な森づくり基金	879,286 千円	900,420 千円
（内訳）とちぎの元気な森づくり県民税収相当額	876,110 千円	856,585 千円
寄附金	3,006 千円	907 千円
利子	80 千円	80 千円
基金残金	- 千円	42,848 千円
2 国庫補助金(繰越)	10,580 千円	10,580 千円

	(計 画 額)	(実 績 額)
(2) とちぎの元気な森づくり県民税事業費 (奥山林整備事業の国庫補助金を含む。)	889,866 千円	848,153 千円

(事業名)	(計 画)	(実 績)	(実績率)
		[全体事業費に占める率]	
1 とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業	507,076 千円	484,219 千円	
(間伐面積) 2,380 ha		2,424 ha	[57.1%]
(獣害対策面積) 200 ha		200 ha	101.8%
(森林バイオマス利用モデル面積) 36 ha		39 ha	100.0%
2 明るく安全な里山林整備事業	241,487 千円	233,846 千円	
(整備面積) 472 ha		478 ha	[27.6%]
3 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業	57,320 千円	55,972 千円	
(木製学習用机・椅子配布数) 1,800 セット		1,800 セット	[6.6%]
(木製ベンチ配布数) 500 基		500 基	100.0%
4 とちぎ森づくり情報センター事業	9,272 千円	9,214 千円	
		[1.1%]	
5 とちぎ森の楽校(がっこう)事業	13,300 千円	11,333 千円	
		[1.3%]	
6 とちぎの元気な森づくり県民会議事業	5,500 千円	5,309 千円	
		[0.6%]	
7 とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業	1,335 千円	1,206 千円	
		[0.1%]	
8 とちぎの元気な森づくり県民広報事業	7,226 千円	6,294 千円	
		[0.7%]	
9 森づくり活動地域支援事業	13,200 千円	11,506 千円	
		[1.4%]	
10 木の香る環境づくり支援事業	32,550 千円	27,654 千円	
		[3.3%]	
11 特色ある緑豊かな地域推進事業	1,600 千円	1,600 千円	
		[0.2%]	

【元気な森づくり】

1. とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業

■事業の内容・実績

- ・手入れが行き届いていないスギ・ヒノキの人工林で間伐を行う。
- ・クマやシカなどの獣害から樹木を守るための対策を支援する。
- ・作業路を整備し、伐り捨てられた間伐材をバイオマス資源として利活用する取組を支援する。

・平成23年度実績			
整備面積	間伐	2,424 ha (15市町)	65箇所
	獣害対策	200 ha (5市町)	464箇所
	森林バイオマス利用モデル	39 ha (5市町)	6箇所
決算額	484,219千円		

■評価 (資料p18～46参照)

1 有効性 : 事業によって得られた効果

(1) 間伐〔便益計算〕

- ・172千円/haの森林整備費に対して、洪水防止や土砂流出防止など1,627千円/haの便益が得られたことから、事業の有効性が認められる。

(2) 獣害対策〔アンケート調査〕

- ・防止資材を設置した樹木はすべてが「被害なし」であり、森林所有者の今後の森林の適正管理に対する前向きな回答が9割あったことなどから、事業の有効性が認められる。

(3) 森林バイオマス利用モデル〔CO₂削減量計算・アンケート調査〕

- ・39haの事業の実施により、397t-CO₂の排出量を削減するとともに、森林所有者からは「路網の整備など作業効率が向上し、次回の間伐につながった」、事業体からは「路網の整備や施業の集約化等の課題があるが、森林管理への意欲が向上した。」など、今後の森林管理に対する意欲が変化していることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性 : 事業に使った経費の度合

(1) 間伐

- ・1ha当たりの整備費は、類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、間伐率や作業路の整備の有無など整備内容に違いがあるものの、他県よりも安価となっており、効率性は確保されている。

(2) 獣害対策

- ・1ha当たりの対象経費は他県よりも高価となっているが、本県は資材の設置への支援、他県は資材の購入のみへの支援と、支援内容が異なっており、効率性が低いとは一概には判定し難い。これまでの実績を踏まえ、有効性、確実性を考慮し総合的に判断すると、現在の支援内容による事業実施はやむを得ない。

(3) 森林バイオマス利用モデル

- ・本県の場合は作業経費に対する支援、他県はCO₂固定効果としての算定額に対する支援と、支援内容に違いがあるものの、1ha当たりの対象経費は他県よりも安価となっており、効率性は確保されている。

3 進捗度 : 計画に対する事業の進みぐあい

- (1) 間伐
 - ・計画面積2,380haに対し、2,424haを整備し、計画を上回る間伐が進んだ。
- (2) 獣害対策
 - ・計画面積200haに対し、200haを整備した。
- (3) 森林バイオマス利用モデル
 - ・計画面積36haに対し、39haを整備し、計画を上回る間伐材の有効活用が進んだ。

平成23年度事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・15年以上手入れがされず機能の低下した2,424haの森林における間伐と、200haの野生獣被害森林への剥皮被害防止対策及び39haの森林からの森林バイオマス利用の実施により、森林の公益的機能が向上した。
今後に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐については、間伐材の有効活用など国の施策動向などを踏まえた見直しを検討する必要がある。 ・獣害対策については、今年度実施する被害対策の有効性の調査結果を踏まえ、総合的に検討していく必要がある。 ・森林バイオマス利用モデルについては、再生可能エネルギーとしての森林資源の利活用の検討が求められている中、固定価格買取制度による事業採算性など、今後の動向を見極めた上で検討する必要がある。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。

【元気な森づくり】

2. 明るく安全な里山林整備事業

■事業の内容・実績

- ・身近な里山林を、住民が将来まで守り育てる地域の憩いの場などへ再生することをはじめ、通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保したり、野生獣被害を軽減したり、生物多様性を保全するために整備する。

・平成23年度実績
整備面積 478ha（全市町 102箇所）
決算額 233,846千円

■評価（資料p47～63参照）

1 有効性

〔アンケート調査〕

（1）将来まで守り育てるとちぎの里山林整備

- ・美しい景観になったと思う人、自然観察等をしやすくなったと思う人が共に95%を超えていることから、事業の有効性が認められる。

（2）通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備

- ・通学時の児童生徒及び住宅地周辺での安全・安心が向上したと思う人が共に85%を超えていることから、事業の有効性が認められる。

（3）野生獣被害軽減のための里山林整備

- ・イノシシなどの野生獣の出没が減った（減りそうだ）と思う人、イノシシなどの野生獣による農業被害が減った（減りそうだ）と思う人が共に80%に及んだことから、事業の有効性が認められる。

（4）生物多様性モデル林整備

- ・多様な生き物がすみやすい環境になったと思う人、自然観察等をしやすくなったと思う人が共に85%を超えていることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・同様の整備を実施している他県と比較すると、1ha当たりの整備費は本県の方が安価となっている。

3 進ちょく度

- ・計画面積472haに対し、478haを整備した。

<p>平成23年度事業の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「将来まで守り育てるとちぎの里山林整備」は計画面積を下回ったものの「通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備」、「野生獣被害軽減のための里山林整備」及び、「生物多様性モデル林整備」については、共に計画面積を整備することができ、里山林の持つ公益的機能の向上や、野生獣被害の軽減が図られた。また、アンケート結果によると里山林を地域全体で保全していこうと思っている人の割合が、4事業とも80%を超えており、地域住民が森の大切さに気づき、地域全体で里山林を保全する気運の高まりが見られた。
<p>今後に向けた課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「野生獣被害軽減のための里山林整備」ではイノシシなどの出没や野生獣の被害が減った（減りそうだ）と答えている人が80%に及んだ一方で、減っていない（減りそうにない）と答えた人も10%以上いる。里山林整備の効果を実感し、地域住民が意欲を持って継続的に管理していくことが重要であることから、地域住民に対し事業効果をわかりやすく示していくことが必要である。
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

3. 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業

■事業の内容・実績

- ・奥山林整備事業で発生した間伐材を活用し、小中学校に木製学習用机・椅子、県民利用施設に木製ベンチを配布する。

・平成23年度実績

配布数	木製学習用机・椅子	1,800セット(15市町 50校)
	木製ベンチ	500基(26市町 127施設)
決算額	55,972千円	

■評価 (資料p64～65参照)

1 有効性

〔アンケート調査〕

(1) 木製学習用机・椅子

- ・全ての児童・生徒に対して、本事業の趣旨を説明したこと及び、県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思う人が100%に達したことなどから、事業の有効性が認められる。

(2) 木製ベンチ

- ・全ての設置箇所にて、パンフレット等の普及活動に取り組んでいること及び、全ての設置先事業者が県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思っていることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

(1) 木製学習用机・椅子

- ・前年度における1セット当たりの事業費と比較すると、若干安価となっており、効率性は確保されている。

(2) 木製ベンチ

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、1基当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。
なお、森づくり県民税により奥山林間伐材を活用して、ベンチを製作・配布している県は本県だけであった。

3 進捗よく度

(1) 木製学習用机・椅子

- ・計画どおり1,800セットを配布した。

(2) 木製ベンチ

- ・計画どおり500基を配布した。

<p>平成23年度事業の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用机・椅子は、森林整備の必要性等の理解・促進について、引き続き県教育委員会及び市町教育委員会と連携して取り組んだ結果、児童・生徒へより一層、理解促進が図られた。 ・木製ベンチは、県民の集まる市町の公共機関等にも配布することによって、より一層県民税等の普及啓発活動に広がりを持たせることが出来た。
<p>今後に向けた課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木材を使用することが、健全な森林の維持に必要であることの理解促進のため、PR効果にも配慮し、継続して事業を実施する必要がある。
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

4. とちぎ森づくり情報センター事業

■事業の内容・実績

- ・ “とちぎの森づくり” ホームページの運営や、森づくり活動のサポートなどを行う。

・ 平成23年度実績
決算額 9,214千円

■評価 (資料p66参照)

1 有効性

〔アンケート調査〕

- ・ 会員の8割が、森づくり活動に役に立っていると考えており、さらに9割が、このホームページができて良かった、これからも森づくり活動に取り組みたいと思っていることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・ 類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、1アクセス当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・ 計画登録者数200人に対し、ほぼ計画どおりの201人の登録があった。

平成23年度事業の成果	・ 「とちぎ森づくり情報センター」の運営により、県民の森づくり活動をサポートするものである。平成23年度事業については、アンケート結果のとおり有効性が認められ、効率性も確保されていることから、県民の森づくり活動への参加促進が図れた。
今後に向けた課題	・ 森づくり活動への参加を促すため、引き続き、ホームページの内容の充実を図るとともに、周知を図る必要がある。
評価	・ 当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗よくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

5. とちぎ「森の楽校(がっこう)」事業

■事業の内容・実績

- ・森林に親しんだり、森づくり活動を行う人材の育成を図るための体験講座を開催したり、子どもたちの森づくり体験活動や指導者研修を行う。

・平成23年度実績
決算額 11,333千円

■評価 (資料p67～68参照)

1 有効性

〔アンケート調査〕

- (1) 「森とのふれあい講座」「森づくり講座」「グリーンスタッフ養成講座」参加者
・参加者の9割以上が、この講座によって森づくりの理解が深まり、今後も森づくり活動や森の大切さの普及活動に取り組みたいと考えていることから、事業の有効性が認められる。
- (2) 「森の体験活動実施」による助成団体(学校)の担当教諭及び指導者研修参加者
・参加者の9割以上がこの事業を子どもたちに役立つ取組と感じ、今後も森林環境学習に取り組みたいと思っていることから、事業の有効性が認められる。
- (3) 「森の子サミット(緑の少年団等の交流による森林体験活動)参加者
・9割以上の方が、このイベントに参加して森林について理解できたと感じており、今後も参加したいと思う人が94%に達したことから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、参加者1人当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進ちょく度

- ・計画どおり体験講座を20回実施し、20団体に支援を行った。

平成23年度事業の成果	・県民の森林の大切さ等に対する理解を促進し、県民参加の森づくり活動を推進することを目的に各種講座や研修等を実施するものである。平成23年度事業については、アンケート結果のとおり有効性が認められ、県民の森づくり活動等の参加促進が図れた。
今後に向けた課題	・本事業についての周知をさらに図るとともに、講座の内容について工夫を図ることより多くの県民の参加を促進する必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

6. とちぎの元気な森づくり県民会議事業

■事業の内容・実績

- ・“とちぎの元気な森づくり”の推進母体である「とちぎの元気な森づくり県民会議」において、森づくり体験活動など、森や木に親しみ、森を知る身近な活動を行う。

・平成23年度実績
決算額 5,309千円

■評価 (資料p69参照)

◇木の教育資材開発提供事業

1 有効性

〔アンケート調査〕

(1) 児童

- ・児童の約9割が、ほかにも木を使って工作したり、木でできたものを使いたいと思うと回答していることから、事業の有効性が認められる。

(2) 教諭

- ・回答したほとんどの教諭が、木の良さや木を使うことの大切さについて、子どもたちの理解は深まったと感じていることなどから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・資材1セット当たりの事業費は前年度とほぼ同額であり、効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・計画どおり、1,300セットを配布した。

平成23年度事業の成果	・子どもたちに木にふれあう機会を創出することによって、森林の大切さや森林整備の必要性について理解促進を図るため、小学校に木工工作の教材を配布し、木づかいスタッフ等の指導のもと木工体験活動に取り組んだ結果、木の良さや木を使うことの大切さについて理解が深まった。
今後に向けた課題	・より多くの児童に、木の良さや木を使うことの大切さを啓発するため、多くの小学校で取り組まれるよう、継続して事業を実施する必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗よくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

7. とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業

■事業の内容・実績

- ・事業の執行状況や効果等について検証・評価を行うとともに、事業の推進に必要な事項を検討する。

・平成23年度実績
決算額 1,206千円

■評価 (資料p70参照)

1 有効性

- ・平成22年度のとちぎの元気な森づくり県民税事業の評価を行い、改善すべき点について報告書にとりまとめ県に提出した。それを受けて以下の点において改善が図られた。
 - 奥山林整備事業により発生する間伐材の活用を図るため、森林バイオマス利用モデルを新規継続(H24～)
 - 獣害対策について、獣害実態に対応した事業面積を確保(H24～)
 - とちぎ森づくり情報センター事業の機能強化を図る「活用促進会議」の開催を追加(H24～)

2 効率性

- ・委員数や開催回数が近い他県と比較すると、委員会1回当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・平成22年度に実施した税事業の評価を行った。

○評価委員会開催等経過

H23. 7. 8 第1回評価委員会：現地調査実施 鹿沼市、栃木市(旧西方町)
H23. 8. 2 第2回評価委員会：平成22年度事業の評価
H23. 9. 13 第3回評価委員会：平成22年度事業評価報告書等
H23. 10. 6 評価報告書の提出・公表
H24. 3. 21 第4回評価委員会：現地調査実施 鹿沼市

平成23年度事業の成果	・平成22年度事業の評価を行い、その結果を公表した。 ・平成22年度事業の評価を受け、平成24年度事業では、奥山林間伐材の一層の活用を促進するため、森林バイオマス利用モデルの新規継続が図られた。
今後に向けた課題	・事業の検証・評価を通して明らかになった課題などを次年度以降の事業に生かしていく。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に実施され、適正な運営が行われた。

【森を育む人づくり】

8. とちぎの元気な森づくり県民広報事業

■事業の内容・実績

- ・ “とちぎの元気な森づくり” の趣旨や事業内容等について広報活動を行う。

・平成23年度実績
決算額 6,294千円

■評価 (資料p71参照)

1 有効性

〔アンケート調査〕

- ・税の認知度について、少なくとも名称は知っているという回答者が、評価を実施した4カ年を通して全体の6割から7割程度で推移しており、一定の事業の有効性が認められる。
※ただし、アンケート調査の回答者は県の環境森林に関係するイベントの来場者が主であることから、環境・森林分野に対する意識が比較的高い方が多いものと推測される。

2 効率性

- ・本県と納税義務者数及び税による事業費が近い他県と比較すると、本県の方が納税義務者1人当たりの事業費が高くなっている。これは比較県においては、インターネットを活用したブログやツイッターによる広報を行っており、パンフレットや啓発物品の作成にかかる費用を抑えていることが主な原因と考えられる。

3 進ちょく度

- ・パンフレット作成65,000部、テレビ・ラジオ102回、税事業実施箇所バスツアー4回、横断幕作成50枚と、ほぼ計画どおり実施したことに加え、平成22年度に作成した県民税周知のためのDVDを増版し県内小中学校へ配布した。

平成23年度事業の成果	・イベント等でのパンフレット配布やテレビ・ラジオ等の広報を通じて、とちぎの元気な森づくり県民税の趣旨や事業内容等の県民理解の促進を図り、一定の成果を維持している。
今後に向けた課題	・県民の認知度の向上を図るため、引き続き各種イベントや広報等において広く周知する必要がある一方、より効果的に周知を図る必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。 ・ただし、県民への広報について、インターネットを活用するなど、より効果的な方法を検討すること。

【森を育む人づくり】

9. 森づくり活動地域支援事業

■事業の内容・実績

- ・市や町が行う、住民やボランティアを対象とした森づくり活動、子どもたちの森林環境学習などを支援する。

・平成23年度実績
決算額 11,506千円

■評価 (資料p72参照)

1 有効性

〔アンケート調査〕

- ・実施した市町の全てが、この事業が森づくり行政や森林環境教育行政に役立ち、今後もこの事業を積極的に活用すると考え、とちぎの元気な森づくり県民税でこの事業が行われたことは良かったと回答していることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、事業を実施した1団体当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・計画どおり、17市町で実施した。

平成23年度事業の成果	・アンケート調査では、全ての市町が事業の有効性について評価しており、森林の大切さへの理解促進が図られた。
今後に向けた課題	・事業の内容や対象経費の周知に努め、実施市町数の拡大を図る必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗よくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

10. 木の香る環境づくり支援事業

■事業の内容・実績

- ・市や町が行う公共施設等の木造・木質化や地域における木の良さ普及啓発活動などを支援する。

・平成23年度実績
決算額 27,654千円

■評価 (資料p73参照)

1 有効性

〔アンケート調査〕

- ・すべての市町が、この事業が環境森林行政に役立ったとの回答を得ていることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・施設整備事業については、前年度実績と比較すると木材1m³あたりの事業費が高価となっているが、平成22年度が構造材や内装材に木材を多く使用する施設整備等であったのに対し、平成23年度は内装木質化や公園施設が中心であり、事業費に対して木材使用量が少ない結果となったためである。
- ・木の良さ普及啓発事業については、参加者1人当たりの事業費は前年度とほぼ同額であり、効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・計画どおり、木の良さ普及啓発活動103回などを実施した。

平成23年度事業の成果	・木を使い、木に触れることを通じて森林整備の必要性について理解促進を図るため、19市町に対して施設整備事業（木造・木質化）、間伐材有効利用事業及び木の良さ普及啓発事業の支援を行った結果、木材の利用が森林保全に果たす役割の重要性について理解が深まった。
今後に向けた課題	・木材の利用が森林保全に果たす役割の重要性について、より一層の理解促進が図られるよう、今後も事業を継続していく必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗よくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

11. 特色ある緑豊かな地域推進事業

■事業の内容・実績

- ・広域的な森づくり活動など、地域の創意工夫を凝らした特色ある取組を支援する。

・平成23年度実績
決算額 1,600千円

■評価 (資料p74参照)

1 有効性

〔アンケート調査〕

- ・参加者の9割以上が、この活動により森づくりについての理解が深まり、今後の森づくり活動に役立つと考え、「とちぎの元気な森づくり県民税」により行われて良かったと回答していることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、参加者1人当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・計画どおり、2市町で実施した。

平成23年度事業の成果	・アンケート調査では、参加者の9割が事業の有効性について評価しており、地域住民や都市住民などが共に参加する森づくりが促進されるとともに、森づくりや身近なみどりを守り育てることの大切さについて理解が深まった。
今後に向けた課題	・事業の採択にあたっては、税の趣旨に照らしながら、今後とも慎重な審査が必要であるが、県内の多くの市町で取り組まれるよう事業制度の普及とともに他事業も含めた実施事例を紹介するなど、事業への取組を促す工夫に努める必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗よくしているものと認められる。

(資 料)

【元氣な森づくり】

1. とちぎの元氣な森づくり奥山林整備事業

1 有効性

(1) 間伐：便益計算

便益区分	評価額 (千円) A	整備面積 (ha) B	ha当たり評価額 (千円/ha) A/B	備 考
○洪水防止便益	1,463,517	2,424	604	整備による降雨流出量減少分を治水ダムで機能代替させる場合のコスト
○水質浄化便益	840,496		347	整備による土壌内浸透降雨増加量を施設により浄化する場合のコスト
○土砂流出防止便益	1,640,186		677	整備による低減される土砂流出量を保全する砂防ダム建設コスト
計	3,944,199	2,424	1,627	

※評価額は「林野公共事業における事前評価マニュアル」に基づき算出

(2) 獣害対策：アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	野生獣による剥皮被害を防止する対策を実施した森林の所有者 74名
【実施時期】	平成24年5～6月
【調査結果】 アンケート対象 74人	
1 今回実施した獣害対策により、森林の被害状況はどう変化しましたか。	・防止資材を設置した樹木： 「被害なし」100%、 「被害あり」 0% ・防止資材未設置の樹木： 「被害なし」74% 「被害あり」26% (被害率5%～10%)
2 獣害対策の実施によって、野生獣による森林被害は減ると思いますか。	「非常に減ると思う」38%、「少し減ると思う」57%、 「あまり減るとは思わない」3%、「わからない」2%
3 今後獣害対策を実施した森林を適切に管理していこうと思いますか。	「そう思う」39%、「ある程度思う」50%、「思わない」0%、 「わからない」11%
4 とちぎの元氣な森づくり県民税により、奥山林の獣害対策が実施されて良かったと思いますか。	「とても良かった」58%、「良かった」41%、 「良くなかった」0%、「わからない」1%

(3) 森林バイオマス利用モデル：CO₂削減量計算・アンケート調査

① CO₂削減量計算

利用区分	計算式	CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)
ペレット利用材 (灯油の代替)	木質ペレット使用量×熱量比×発熱量×CO ₂ 排出係数×ボイラー効率比 149.76 × 1.0 × 20 × 0.0679 × 1.0	203
発電用に利用 (石炭の代替)	間伐材等使用量×(1-含水率/100)×発熱量×CO ₂ 排出係数×ボイラー効率比 159.20 × (1-50/100) × 20 × 0.0913 × 1.0	142
ボイラ熱源用材 (A重油の代替)	間伐材等使用量×(1-含水率/100)×発熱量×CO ₂ 排出係数×ボイラー効率比 76.80 × (1-50/100) × 20 × 0.0693 × 1.0	52
計		397

※利用した森林バイオマス資源をすべて電力の代替と仮定した場合、約270,000kwh分を発電、一般的な家庭75戸での年間電力消費量に相当。

② 今後の森林管理に対するアンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	森林バイオマス利用モデルを実施した森林整備事業体及び実施箇所の森林所有者 13名
【実施時期】	平成24年7月
【調査結果】 アンケート対象 13名	
森林所有者	・林内が片付いてありがたい。機会があればまたお願いしたい。 ・路網が整備され、作業効率の向上が図られた。次回の間伐につなげたい。
森林整備事業体	・林内が整理され、森林管理の意欲が向上した。取組を進めるためには、路網の整備や施業の機械化・集約化、供給先及び供給量の確保が必要。

2 効率性

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	効率性 (千円/ha) D/C
間伐	2,221	343,869	2,264	331,291	146
利用間伐	34	23,667	35	18,350	524
国庫補助活用事業(緑越)	125	23,690	125	23,690	190
事業推進費		44,102		43,396	
間伐実施 計	2,380	435,328	2,424	416,727	172
獣害対策	200	64,800	200	63,000	315
森林バイオマス利用モデル	36	6,948	39	4,492	115

※国庫補助活用事業及び整備事業合計の予算額及び決算額は、国庫補助金を含む。

【効率性に関する比較検討】

(1) 間伐

比較県	効率性	特 記 事 項
栃木県	172 (千円/ha)	【整備内容】 ・本数率で概ね35%の間伐を実施 ・必要に応じ林内整理 【事業対象経費】 ・①森林現況調査 ②間伐 ③事業実施に必要な歩道整備
A県	235 (千円/ha)	【整備内容】 ・本数率で概ね30%の間伐を実施 ・間伐木については、対象区域内集積 【事業対象経費】 ・①森林現況調査 ②間伐 ③事業実施に必要な作業路整備
B県	243 (千円/ha)	【整備内容】 ・本数率で40%以上の間伐実施 ・間伐木については、対象区域内集積 【事業対象経費】 ・①森林現況調査 ②間伐 ③事業実施に必要な作業路整備

(2) 獣害対策

比較県	効率性	特 記 事 項
栃木県	315 (千円/ha)	【整備内容】 ・1haあたり600本以上の獣害対策資材の設置 【事業対象経費】 ・獣害対策資材(ネット)の設置経費
C県	168 (千円/ha)	【整備内容】 ・1haあたり500本以上の獣害対策資材の設置 (設置本数に応じた4区分の単価設定) 【事業対象経費】 ・獣害対策資材(ネット)購入に対する経費

(3) 森林バイオマス利用モデル

比較県	効率性	特記事項
栃木県	115 (千円/ha)	【整備内容】 ・ 税事業伐り捨て間伐木の玉切り・集材 【事業対象経費】 ・ 間伐材の玉切り、集材、利用促進路整備に対する経費
D県	144 (千円/ha)	【整備内容】 ・ 低質材の搬出 【事業対象経費】 ・ 造林事業により30m ³ /ha程度の搬出のほか、30m ³ /haの低質材を併せて60m ³ /haの搬出があった場合に補助 (補助額については、CO ₂ 固定効果としての額)

3 進捗度

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	進捗度 (%) C/A	予算執行率 (%) D/B
間伐	2,221	343,869	2,264	331,291	101.9	96.3
利用間伐	34	23,667	35	18,350	102.9	77.5
国庫補助活用事業(繰越)	125	23,690	125	23,690	100.0	100.0
事業推進費		44,102		43,396		98.4
獣害対策	200	64,800	200	63,000	100.0	97.2
森林バイオマス利用モデル	36	6,948	39	4,492	108.3	64.7

平成23年度奥山林整備事業一覽【間伐】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【鹿沼市】									
1	鹿沼市栗野1	H23.6.27 ~ H23.10.31	スギ・ヒノキ	21~60	20~35	66.51	8,337	125	
2	鹿沼市栗野2	H23.8.11 ~ H23.11.4	スギ・ヒノキ	18~58	25~35	31.88	4,331	136	
3	鹿沼市西大戸1	H23.7.12 ~ H23.10.31	スギ・ヒノキ	30~58	20~35	57.71	8,922	155	
4	鹿沼市西大戸2	H23.9.13 ~ H24.1.4	スギ・ヒノキ	16~60	20~35	73.18	10,288	141	
5	鹿沼市清洲・真名子	H23.7.15 ~ H23.10.7	スギ・ヒノキ	22~59	25~35	29.52	4,200	142	※旧西方町15.69ha含む
6	鹿沼市加藤1	H23.8.8 ~ H23.11.28	スギ・ヒノキ	17~60	20~35	89.84	11,868	132	
7	鹿沼市永野1	H23.9.13 ~ H24.1.20	スギ・ヒノキ	17~60	20~35	41.15	5,040	122	
8	鹿沼市永野2	H23.10.12 ~ H24.2.10	スギ・ヒノキ	21~58	20~35	45.70	5,484	120	
9	鹿沼市板荷1	H23.9.26 ~ H24.1.16	スギ・ヒノキ	19~60	20~30	68.10	8,585	126	
10	鹿沼市板荷2	H23.10.7 ~ H24.1.23	スギ・ヒノキ	19~60	20~35	60.84	7,756	127	
11	鹿沼市永野・粕尾	H23.11.1 ~ H24.2.24	スギ・ヒノキ	22~60	20~35	41.96	4,988	119	
小計						606.39	79,797	132	
【日光市】									
1	日光市足尾1	H23.7.20 ~ H23.10.31	スギ・ヒノキ	25~60	20~30	50.39	6,258	124	
2	日光市栗山5	H23.7.15 ~ H23.10.25	スギ・ヒノキ	47~53	25~35	33.18	4,609	139	
3	日光市栗山6	H23.10.17 ~ H24.3.5	スギ・ヒノキ	20~60	20~35	34.07	4,669	137	
4	日光市藤原1	H23.7.15 ~ H23.11.10	スギ・ヒノキ	20~60	20~35	40.31	4,642	115	
5	日光市藤原2	H23.10.7 ~ H24.1.31	スギ・ヒノキ	18~59	20~35	35.25	4,487	127	
6	日光市豊岡3	H23.8.1 ~ H23.12.15	スギ・ヒノキ	23~60	20~35	41.96	5,066	121	
7	日光市今市2・豊岡4	H23.8.29 ~ H24.1.20	スギ・ヒノキ	20~60	20~35	61.13	7,410	121	【抽出箇所①】
8	日光市七里	H23.9.20 ~ H24.1.6	スギ・ヒノキ	17~60	20~35	50.10	5,912	118	
9	日光市細尾	H23.10.31 ~ H24.2.10	スギ・ヒノキ	23~60	20~35	53.28	6,542	123	
小計						399.67	49,595	124	

平成23年度奥山林整備事業一覧【間伐】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【宇都宮市】									
1	宇都宮市町田外	H23.11.14 ~ H24.2.29	スギ・ヒノキ	17~60	20~30	37.77	4,274	113	【抽出箇所②】
【益子町】									
1	益子町赤法花外	H23.6.15 ~ H23.10.14	スギ・ヒノキ	19~60	20~30	35.32	4,409	125	
【茂木町】									
1	茂木町延願寺外	H23.8.12 ~ H23.11.30	スギ・ヒノキ	17~60	20~30	42.35	4,463	105	
2	茂木町沼田外	H23.10.5 ~ H24.2.10	スギ・ヒノキ	16~60	20~35	51.44	6,352	123	
	小計					93.79	10,815	115	

平成23年度奥山林整備事業一覧【間伐】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円)B	効率性 (千円)B/A	特記事項
【大田原市】									
1	大田原市須賀川	H23.9.29 ~ H24.1.31	スギ・ヒノキ	16~56	25~35	69.73	10,710	154	
2	大田原市須賀川2	H23.11.30 ~ H24.3.15	スギ・ヒノキ	17~60	25~35	61.99	11,550	186	
3	大田原市両郷1	H23.9.29 ~ H24.1.16	スギ・ヒノキ	20~60	25~35	54.66	8,484	155	【抽出箇所③】
	小計					186.38	30,744	165	
【那須塩原市】									
1	那須塩原市高林1	H23.8.25 ~ H23.11.30	スギ・ヒノキ	16~59	20~30	46.31	6,300	136	
2	那須塩原市高林2	H23.12.1 ~ H24.3.12	スギ・ヒノキ	16~56	20~30	55.17	7,140	129	
	小計					101.48	13,440	132	
【那須烏山市】									
1	那須烏山市七合	H23.8.26 ~ H23.11.30	スギ・ヒノキ	21~60	30	62.24	10,174	163	
2	那珂川町大山田2(那須烏山市分)	H23.12.1 ~ H24.3.12	スギ・ヒノキ	16~60	30	7.24	1,174	162	
	小計					69.48	11,348	163	
【那須町】									
1	那須町那須1	H23.7.27 ~ H23.11.30	スギ・ヒノキ	24~59	20~35	83.30	13,020	156	
2	那須町伊王野1	H23.9.29 ~ H24.2.29	スギ・ヒノキ	16~30	30~35	116.99	23,100	197	
	小計					200.29	36,120	180	
【那珂川町】									
1	那珂川町大山田	H23.9.30 ~ H24.1.16	スギ・ヒノキ	25~60	30	51.45	8,190	159	
2	那珂川町大山田2(那珂川町分)	H23.12.1 ~ H24.3.12	スギ・ヒノキ	16~60	30	34.19	5,546	162	
	小計					85.64	13,736	160	

平成23年度奥山林整備事業一覧【間伐】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【栃木市】									
1	栃木市柏倉	H23.12.13 ~ H24.2.24	スギ・ヒノキ	27~60	30	27.97	4,399	157	
【佐野市】									
1	佐野市西穴切	H23.6.30 ~ H23.10.20	スギ・ヒノキ	21~58	25~30	45.05	6,994	155	
2	佐野市東穴切	H23.8.4 ~ H23.11.18	スギ・ヒノキ	28~60	20~30	57.18	8,441	148	
3	佐野市中山	H23.9.7 ~ H24.1.13	スギ・ヒノキ	29~59	30	27.75	4,190	151	【抽出箇所④】
4	佐野市今倉	H23.9.16 ~ H23.12.15	スギ・ヒノキ	16~60	30	24.23	3,688	152	
5	佐野市寺沢	H23.10.5 ~ H24.1.31	スギ・ヒノキ	46~60	30	74.41	11,203	151	
6	佐野市深総沢外	H23.12.22 ~ H24.3.9	スギ・ヒノキ	22~60	30	39.84	6,174	155	
小計						268.46	40,690	152	

平成23年度奥山林整備事業一覧【間伐】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【矢板市】									
1	矢板市矢板1	H23.6.22 ~ H23.8.25	スギ・ヒノキ	16~44	35	17.26	4,515	262	【抽出箇所⑤】
2	さくら市外(矢板市分)	H23.10.3 ~ H23.12.20	スギ・ヒノキ	16~57	20~35	27.62	5,446	197	
3	矢板・塩谷(矢板市分)	H23.8.8 ~ H23.10.20	スギ・ヒノキ	16~60	20~35	10.44	1,972	189	
4	矢板・塩谷2(矢板市分)	H23.11.18 ~ H24.1.30	スギ・ヒノキ	16~60	20~35	5.39	934	173	
	小計					60.71	12,867	212	
【さくら市】									
1	さくら市外(さくら市分)	H23.10.3 ~ H23.12.20	スギ・ヒノキ	16~57	20~35	12.32	2,429	197	
2	矢板・塩谷2(さくら市分)	H23.11.18 ~ H24.1.30	スギ・ヒノキ	16~60	20~35	4.83	837	173	
	小計					17.15	3,266	190	
【塩谷町】									
1	塩谷町塩谷1	H23.6.28 ~ H23.9.20	スギ・ヒノキ	16~60	35	39.74	8,820	222	
2	矢板・塩谷(塩谷町分)	H23.8.8 ~ H23.10.20	スギ・ヒノキ	16~60	20~35	13.47	2,543	189	
3	矢板・塩谷2(塩谷町分)	H23.11.18 ~ H24.1.30	スギ・ヒノキ	16~60	20~35	20.26	3,510	173	
	小計					73.47	14,873	202	
【その他】									
1	事務費						918		職員旅費、消耗品費
県合計(a)						2,263.97	331,291	146	
事業計画(b)									
進捗度(a)/(b) 96						2,221.00	343,859	155	
						102%	96%		

平成23年度奥山林整備事業一覧【利用間伐】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円)B	効率性 (千円)B/A	特記事項
1	鹿沼市西大戸	H23.10.28 ~ H23.10.31	スギ	54	35	0.79	866	1,096	
2	日光市藤原・猪倉	H23.10.31 ~ H24.1.20	スギ・ヒノキ	27~52	35	5.95	3,085	518	
3	茂木町神井	H23.12.6 ~ H24.2.29	ヒノキ	28~30	26	7.44	3,895	524	
4	大田原市河原	H23.12.9 ~ H24.2.20	スギ・ヒノキ	36~53	30	6.88	2,108	306	
5	栃木市観音入	H23.12.7 ~ H24.2.20	スギ・ヒノキ	54~60	25~30	3.06	2,060	673	
6	佐野市中山	H23.9.7 ~ H24.1.13	スギ・ヒノキ	41~47	30	4.05	1,716	424	
7	塩谷町塩谷	H23.11.11 ~ H24.1.30	スギ・ヒノキ	50~57	24~25	7.00	4,620	660	
小計									
【その他】									
1	事務費								職員旅費、消耗品費
県合計(a)						35.17	18,350	522	
事業計画(b)									
進捗度(a)/(b) 96						34.00	23,667	696	
						103%	76%		

平成22年度緑越・奥山林整備事業一覧【国庫補助活用事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【日光市】									
1	日光市栗山4	H22.12.20 ~ H23.4.15	スギ・ヒノキ	43~51	20~25	2.39	367	154	
2	日光市今市・大沢2	H22.11.15 ~ H23.4.21	スギ・ヒノキ	36~53	20~35	9.39	1,743	186	
	小計					11.78	2,110	179	
【大田原市】									
1	大田原市両郷1	H22.12.14 ~ H23.4.20	スギ・ヒノキ	17~59	27~35	9.85	2,220	225	
2	大田原市両郷2	H22.12.14 ~ H23.4.20	スギ・ヒノキ	17~53	27~35	15.51	3,246	209	
3	大田原市須賀川	H22.12.14 ~ H23.4.20	スギ・ヒノキ	16~31	27	10.63	2,425	228	
	小計					35.99	7,891	219	
【那須町】									
1	那須町芦野1	H22.12.22 ~ H23.5.20	スギ・ヒノキ	16~50	35	50.56	8,578	170	
2	那須町芦野2	H22.12.22 ~ H23.5.20	スギ・ヒノキ	20~59	35	26.48	5,111	193	
	小計					77.04	13,689	178	
【その他】									
1	事務費								職員旅費、消耗品費
県合計(a)						124.81	23,690	190	
事業計画(b)									
進捗度(a)/(b)						100%	100%	100%	

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所①】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	日光市 今市2・豊岡4	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	20～60年生
事業概要	事業内容	間伐 61.13ha 間伐率 20～35%	事業の必要性	<p>当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況である。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。</p>	
	事業費	7,409,850円			
	【事業着手前】				
事業の実施状況			<p>【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H23/8月撮影)</p> 		
	<p>↓</p> <p>【事業完了後】</p> 		<p>【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H24/7月撮影)</p>  <p>間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が回復してきている状況である。</p>		


とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調査【抽出箇所②】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	宇都宮市 町田外	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	17～60年生
事業概要	事業内容	間伐 37.77ha 間伐率 20～30%	事業の必要性	当計画地は、土砂流出防備保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草のない状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
	事業費	4,273,500円			
	【事業着手前】				
事業の実施状況			【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H23/8月撮影)		
			【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H24/6月撮影)		
				間伐を実施し、林内に光が入るようになってからまだ短い期間ではあるが、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。	

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所③】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	大田原市 両郷1	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	20～60年生
事業概要	事業内容	間伐 54.66ha 間伐率 25～35%	事業の必要性	<p>当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況である。</p> <p>このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。</p>	
	事業費	8,484,000円			
	【事業着手前】				
事業の実施状況			 <p>【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H23/6月撮影)</p>		
			 <p>【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H24/6月撮影)</p> <p>間伐を実施し、林内に光が入るようになってからまだ短い期間ではあるが、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。</p>		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調査【抽出箇所④】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	佐野市 中山	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	29～59年生
事業概要	事業内容	間伐 27.75ha 間伐率 30%	事業の必要性	<p>当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内に入る光の量が限られ、下草がまばらにしか見られない状況にある。</p> <p>このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。</p>	
	事業費	4,189,500円			
	【事業着手前】				
事業の実施状況			<p>【モニタリング調査】</p> <p>○下層植生調査(H23/6月撮影)</p>		
	<p style="text-align: center;">↓</p>		<p>【事業完了後】</p>		 <p>【モニタリング調査】</p> <p>○下層植生調査(H24/7月撮影)</p> <p>間伐を実施したことにより、林内に更に光が入るようになり、下草などの植生が少しずつ増えてきている状況である。</p>

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調査【抽出箇所⑤】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	矢板市 矢板1	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	16～44年生
事業概要	事業内容	間伐 17.26ha 間伐率 35%	事業の必要性	<p>当計画地は、土砂流出防備保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況にある。このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。</p>	
	事業費	4,515,000円			
	【事業着手前】				
事業の実施状況			<p>【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H23/8月撮影)</p> 		
			<p>【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H24/7月撮影)</p>  <p>間伐を実施し、林内に光が入るようになってからまだ短い期間ではあるが、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。</p>		
【事業完了後】					

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【平成22年度抽出箇所①】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	日光市 豊岡2	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	16～60年生
事業概要	事業内容	間伐 71.29ha 間伐率 20～35%	事業の必要性	<p>当計画地は、土砂流出防備保安林等で公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、条件等の悪い奥地であるため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草のない状況である。</p> <p>このため、降雨時の土砂流出や水源涵養機能の低下等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。</p>	
	事業費	11,437,650円			
	事業の 実施状況				
	【事業着手前】		【モニタリング調査】	○下層植生調査(H22/9月撮影)	
				○下層植生調査(H23/7月撮影)	
	【事業完了後】			○下層植生調査(H24/7月撮影)	
				<p>間伐を実施したことにより、林内に多少光が入るようになり、下草などの植生がわずかに回復してきている状況である。</p>	

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調査【平成22年度抽出箇所②】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	益子町 向山外	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	17～34年生
事業概要	事業内容	間伐 24.65ha 間伐率 33～35%	事業の必要性	当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がまばらにしか見られない状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
	事業費	5,638,500円			
	事業の実施状況				
	【事業着手前】		【モニタリング調査】	○下層植生調査(H22/7月撮影)	
	↓		↓	○下層植生調査(H23/8月撮影)	
	【事業完了後】		↓	○下層植生調査(H24/7月撮影)	
	↓		↓	間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。	
	【H24/7月】				

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【平成22年度抽出箇所③】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	大田原市 黒羽1	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	16～60年生
事業概要	事業内容	間伐 55.21ha 間伐率 27～35%	事業の必要性	<p>当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況である。</p> <p>このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。</p>	
	事業費	8,851,500円			
	事業の実施状況				
	【事業着手前】		【モニタリング調査】	○下層植生調査(H22/7月撮影)	
					
	【事業完了後】			○下層植生調査(H23/6月撮影)	
					
	【H24/7月】			○下層植生調査(H24/7月撮影)	
				 <p>間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。</p>	

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調査【平成22年度抽出箇所④】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	足利市 反田	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	21～60年生
事業概要	事業内容	間伐 11.03ha 間伐率 22～34%	事業の必要性	<p>当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。</p>	
	事業費	1,152,900円			
	事業の進捗状況				
事業の実施状況	【事業着手前】		【モニタリング調査】	○下層植生調査(H22/6月撮影)	
					
	【事業完了後】			○下層植生調査(H23/8月撮影)	
					
	【H24/7月】			○下層植生調査(H24/7月撮影)	
				<p>間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。</p>	

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【平成22年度抽出箇所⑤】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	塩谷町 玉生1	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	26～60年生
事業概要	事業内容	間伐 22.03ha 間伐率 35%	事業の必要性	当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がまばらにしか見られない状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
	事業費	4,222,050円			
	事業の実施状況				
	【事業着手前】		【モニタリング調査】	○下層植生調査(H22/9月撮影)	
					
	【事業完了後】			○下層植生調査(H23/8月撮影)	
					
	【H24/6月】			○下層植生調査(H24/6月撮影)	
				 <p>間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生がわずかに回復してきている状況である。</p>	

平成23年度とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業 市町別獣害対策実施一覧

所管事務所	No.	市町名	対策実施箇所数	実施面積計(ha)	本数被害率	実施地区	地区内管理箇所数	事業主体	実施面積(ha)	備考
県西環境森林事務所	1	日光市	258	70.00	15~38%	小栗川(旧日光市)	31	日光市森林組合	24.98	【抽出箇所①】
						瀧尾(旧今上市)	8		6.38	
						足尾(旧足尾町)	1		5.11	
県北環境森林事務所	2	鹿沼市	123	70.00	10~15%	黒部・上栗山・野門(旧栗山村)	218	鹿沼市森林組合	33.53	
						谷伏・西大井・加藤・高森(旧鹿沼市)	61		35.00	
						栗野・粕尾(旧栗野町)	62		35.00	
県南環境森林事務所	4	那須塩原市	1	2.00	7%	高林(旧黒磯市)	1	那須塩原市森林組合	2.00	【抽出箇所②】
						小計	1	2.00	2.00	
						佐野市	74	53.00	10%	みかも森林組合
矢板森林管理事務所	6	塩谷町	8	5.00	6~10%	船生	5	たかはら森林組合	1.00	【抽出箇所④】
						小計	8	5.00	5.00	
						高原市	464	200.00	7~38%	高原林産企業組合
合計			464	200.00			464		200.00	

○事業主体別獣害対策実施面積

No.	事業主体名	獣害対策実施面積(ha)	交付金付額(千円)
1	日光市森林組合	70.00	22,050
3	鹿沼市森林組合	35.00	11,025
4	栗野森林組合	35.00	11,025
5	みかも森林組合	53.00	16,695
6	那須塩原市森林組合	2.00	630
7	たかはら森林組合	1.00	315
8	高原林産企業組合	4.00	1,260
	計	200.00	63,000

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所①】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業(獣害対策)			事業主体	日光市森林組合
箇所所在地	日光市 小栗川	樹種	スギ	加害獣	クマ
				被害率	32%
事業概要	事業内容	獣害対策		事業の必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象市の日光市の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、単木的な獣害対策を実施する必要がある。
	実施面積	1.85ha			
	事業費	582,750円			

【獣害被害発生状況】



事業の
実施状況



【獣害対策完了後】



とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調査【抽出箇所②】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業(獣害対策)			事業主体	那須塩原市森林組合	
箇所所在地	那須塩原市 高林		樹種	ヒノキ	加害獣	クマ
					被害率	7%
事業概要	事業内容	獣害対策		事業の必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象市の那須塩原市の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、単木的な獣害対策を実施する必要がある。	
	実施面積	2.00ha				
	事業費	630,000円				
事業の実施状況	【獣害被害発生状況】					
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>					

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所③】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業(獣害対策)		事業主体	みかも森林組合	
箇所所在地	佐野市 作原		樹種	加害獣	クマ
			ヒノキ	被害率	10%
事業概要	事業内容	獣害対策	事業の必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象市の佐野市の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、単木的な獣害対策を実施する必要がある。	
	実施面積	0.43ha			
	事業費	135,450円			
事業の実施状況	【獣害被害発生状況】				
					
					
【獣害対策完了後】					
					

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調査【抽出箇所④】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業(獣害対策)			事業主体	たかはら森林組合	
箇所所在地	塩谷町 船生		樹種	スギ	加害獣	クマ
					被害率	7%
事業概要	事業内容	獣害対策		事業の必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象町の塩谷町の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、単木的な獣害対策を実施する必要がある。	
	実施面積	0.3ha				
	事業費	94,500円				
事業の実施状況	【獣害被害発生状】					
						
						
【獣害対策完了後】						
						

平成23年度とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業 森林バイオマス利用モデル交付金実施一覧

所管事務所	No.	市町名	実施地区	地区内実施箇所数	事業主体	実施量		交付金交付額 (千円)	備 考
						実施面積(ha)	利用促進距離(m)		
県西環境森林事務所	1	鹿沼市	加蘇地区	1	栃木県森林組合連合会	1.55	0	990【評価調査①】	
			永野地区	1		1.33	0		
		宇都宮市	豊岡地区	1		2.45	150		
			羽黒地区	1		3.67	300		
		小計		4		9.00	450		
県北環境森林事務所	2	那須町	豊原乙地区	1	那須町森林組合	20.05	1,500	2,593【評価調査②】	
		小計		1		20.05	1,500	2,593	
県南環境森林事務所	3	佐野市	水室地区	1	みかも森林組合	10.27	230	909【評価調査③】	
				1		10.27	230	909	
		小計		6		39.32	2,180	4,492	
合 計									







とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書①

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県森林組合連合会	
箇所所在地	鹿沼市 加蘇外3	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	25～57年生
事業概要	事業内容	森林バイオマス利用モデル 9.00ha 造材・集材 9.00ha 利用促進路 450m	事業の必要性	<p>当計画地は、とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業により間伐を実施した箇所であり、林内には伐捨てられた間伐材が多くあることから、この未利用となっている間伐材の有効活用を図る必要がある。</p> <p>このため、未利用となっている間伐材の利活用方法、取組体制、実施経費等を検証し、実践に結びつけるための実証的取組を実施する必要がある。</p>	
	事業費	990,000円			
	【事業着手前】				
事業の実施状況					
					
					

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書②

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	那須町森林組合	
箇所所在地	那須町 豊原乙	樹種	スギ	林齢	54～59年生
事業概要	事業内容	森林バイオマス利用モデル 20.05ha	事業の必要性	当計画地は、とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業により間伐を実施した箇所であり、林内には伐捨てられた間伐材が多くあることから、この未利用となっている間伐材の有効活用を図る必要がある。 このため、未利用となっている間伐材の利活用方法、取組体制、実施経費等を検証し、実践に結びつけるための実証的取組を実施する必要がある。	
		造材・集材 20.05ha 利用促進路 1,500m			
	事業費	2,593,550円			
事業の 実施状況	【事業着手前】				
			【実施状況】 		
					
	【事業完了後】 		【利用促進路利用状況】 		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書③

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	みかも森林組合	
箇所所在地	佐野市 氷室	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	47年生
事業概要	事業内容	森林バイオマス利用モデル 10.27ha	事業の必要性	当計画地は、とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業により間伐を実施した箇所であり、林内には伐捨てされた間伐材が多くあることから、この未利用となっている間伐材の有効活用を図る必要がある。 このため、未利用となっている間伐材の利活用方法、取組体制、実施経費等を検証し、実践に結びつけるための実証的取組を実施する必要がある。	
		造材・集材 10.27ha 利用促進路 230m			
	事業費	908,570円			
事業の 実施状況	【事業着手前】				
					
					
					

【元気な森づくり】

2. 明るく安全な里山林整備事業

1 有効性

(1) 将来まで守り育てるとちぎの里山林整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業実施地自治会、全事業箇所(整備箇所23・整備面積100.79ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 129人	
1 里山林整備によって、周辺の風景と調和し美しい景観になったと思いますか。	「非常に美しい景観になった」50%、 「ある程度美しい景観になった」47%、「あまり変わらない」3%、 「整備しない方が良かった」0%、「わからない」0%
2 里山林整備によって、自然観察や散策、里山の手入れなどがしやすくなったと思いますか。	「非常にしやすくなった」59%、「ある程度しやすくなった」37%、 「あまり変わらない」3%、「しづらくなった」0%、「わからない」1%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」47%、「ある程度思う」36%、 「ほとんど思わない」8%、「全く思わない」1%、「わからない」8%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って、里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」54%、「良かった」41%、「どちらでもない」4%、 「良くなかった」0%、「わからない」1%

(2) 通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	学校・保護者・事業実施地自治会、全事業箇所(整備箇所20・整備面積50.00ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 78人	
1 里山林整備によって、児童・生徒などの通学時の安全・安心が向上したと思いますか。	「非常に向上した」47%、「ある程度向上した」41%、 「あまり向上しなかった」6%、「全く向上しなかった」0% 「わからない」5%
2 里山林整備によって、住宅地周辺で生活する上で安全・安心が向上したと思いますか。	「非常に向上した」42%、「ある程度向上した」48%、 「あまり向上しなかった」6%、「全く向上しなかった」0% 「わからない」4%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」39%、「ある程度思う」58%、 「ほとんど思わない」0%、「全く思わない」1%、「わからない」3%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って、里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」37%、「良かった」57%、「どちらでもない」1%、 「良くなかった」1%、「わからない」4%

(3) 野生獣被害軽減のための里山林整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業実施地の農地耕作者・自治会、全事業箇所(整備箇所57・整備面積321.26ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 398人	
1 里山林整備によって、イノシシなどの野生獣の田畑、住宅地への出没が減った(減る)と思いますか。	「非常に減った(減りそうだ)と思う」34%、 「少し減った(減りそうだ)と思う」46%、 「あまり減っていない(減りそうにない)」11%、 「まったく減らない(減りそうにない)」3%、「わからない」6%
2 里山林整備によって、イノシシなどの野生獣による農業被害が減った(減る)と思いますか。	「非常に減った(減りそうだ)と思う」32%、 「少し減った(減りそうだ)と思う」49%、 「あまり減っていない(減りそうにない)」12%、 「まったく減らない(減りそうにない)」1%、「わからない」6%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」40%、「ある程度思う」48%、 「ほとんど思わない」8%、「全く思わない」1%、「わからない」3%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って、里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」52%、「良かった」41%、「どちらでもない」3%、 「良くなかった」1%、「わからない」3%

(4) 生物多様性モデル林整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業実施地自治会、全事業箇所(整備箇所2・整備面積5.60ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 8人	
1 里山林整備によって、多様な生き物がすみやすい環境になったと思いますか。	「非常にそう思う」38%、 「ある程度そう思う」62%、 「ほとんど思わない」0%、 「整備しない方がよかった」0%、「わからない」0%
2 里山林整備によって、自然観察や散策、里山の手入れなどがしやすくなったと思いますか。	「非常にしやすくなった」50%、 「ある程度しやすくなった」38%、 「あまり変わらない」12%、 「しづらくなった」0%、「わからない」0%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」50%、「ある程度思う」38%、 「ほとんど思わない」0%、「全く思わない」0%、「わからない」12%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って、里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」50%、「良かった」50%、「どちらでもない」0%、 「良くなかった」0%、「わからない」0%

2 効率性

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	効率性 (千円/ha) D/C
将来まで守り育てるとちぎの里山林整備 (a)	117	64,817 (88,037)	100.79	57,763 (80,413)	573
通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備 (b)	50	12,550 (24,000)	50.00	11,705 (23,172)	234
野生獣被害軽減のための里山林整備 (c)	300	71,100 (124,450)	321.26	72,370 (126,217)	225
生物多様性モデル林整備 (d)	5	5,000 (5,000)	5.60	4,044 (4,044)	722
里山林整備事業費合計(a+b+c+d)	472	153,467 (241,487)	478	145,880 (233,846)	305

※()書き数字は管理費を含む全体の事業費

〔効率性に関する比較検討〕 ※対象経費が大きく異なるため、(a)(d)と(b)(c)を分けて比較

比較県	効率性	特 記 事 項
栃木県 (a)(d)	581 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ ①不要木の除去 ②やぶの刈り払い ③樹木の植栽 ④歩道の整備 ⑤案内標識整備 【実施主体】 ・ 市町村
A県	980 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ ①除間伐 ②下刈り ③樹木の植栽 ④歩道整備 ⑤標識設置 【実施主体】 ・ 市町村
栃木県 (b)(c)	226 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ ①不要木の除去 ②やぶの刈り払い 【実施主体】 ・ 市町村
B県	309 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ ①除伐 ②やぶの刈り払い 【実施主体】 ・ NPO・ボランティア団体等

3 進捗よく度

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	進捗よく度 (%) C/A	予算執行率 (%) D/B
将来まで守り育てるとち ぎの里山林整備 (a)	117	64,817 (88,037)	100.79	57,763 (80,413)	86.1	89.1
通学路や住宅地周辺の 安全・安心を確保するた めの里山林整備 (b)	50	12,550 (24,000)	50.00	11,705 (23,172)	100.0	93.3
野生獣被害軽減のため の里山林整備 (c)	300	71,100 (124,450)	321.26	72,370 (126,217)	107.1	101.8
生物多様性モデル林整 備 (d)	5	5,000 (5,000)	5.60	4,044 (4,044)	112.0	80.9
里山林整備事業費合計 (a+b+c+d)	472	153,467 (241,487)	478	145,880 (233,846)	101.2	95.1

※()書き数字は管理費を含む全体の事業費

平成23年度里山林整備事業一覧

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
1	鹿沼市茂呂	H24.2.1～H24.3.16	将来まで守り育てる	不要木の除去・やぶの 刈払い・歩道整備	鹿沼市	3.00	2,940	980	
2	宇都宮市宮山町・今里町	H23.10.4～H24.1.31	"	不要木の除去・やぶの 刈払い・木製階段整備	宇都宮市	6.16	4,200	682	
3	宇都宮市兵庫塚町	H23.7.11～H24.3.2	"	不要木の除去・やぶの 刈払い・歩道整備	日本樹木育成研究会	1.70	1,700	1,000	
4	真岡市古山	H23.11.1～H24.3.4	"	やぶの刈払い・倒木処 理等	真岡市	4.40	1,873	426	
5	真岡市長田外	H23.11.1～H24.3.15	"	不要木の除去・やぶの 刈払い等	真岡市	1.80	1,593	885	
6	真岡市西高間木	H23.12.3～H24.3.3	"	やぶの刈払い・倒木処 理等	真岡市	1.60	717	448	
7	真岡市東大島	H23.11.20～H24.3.12	"	不要木の除去・歩道整 備	真岡市	7.50	1,907	254	
8	真岡市伊勢崎	H23.10.28～H24.3.9	"	不要木の除去・歩道整 備	真岡市	5.50	1,665	303	【抽出箇所①】
9	笠子町前沢	H23.11.9～H24.2.29	"	不要木の除去・やぶの 刈払い	笠子町	10.00	2,310	231	
10	茂木町林	H23.10.26～H24.3.22	"	やぶの刈払い・選種等 の設置	林出協会	2.40	2,400	1,000	
11	茂木町茂木	H23.9.16～H24.3.21	"	やぶの刈払い・遊歩道 整備等	株式会社山形県林業振興センター	3.00	1,500	500	
12	茂木町上菅又	H24.1.6～H24.3.26	"	やぶの刈払い・遊歩道 整備等	下菅又里山保存会	5.00	5,000	1,000	
13	市貝町市城	H23.12.26～H24.3.16	"	不要木の除去・やぶの 刈払い	市貝町市城町	2.67	2,300	861	
14	芳賀町大字上稲毛田	H23.12.1～H24.3.14	"	不要木の伐採、やぶの 刈り払い	芳賀町	12.00	2,079	173	
15	那須塩原市嶋内	H23.10.3～H24.3.23	"	不要木の除去・やぶの 刈払い・歩道整備	嶋内愛林協会	4.00	4,000	1,000	【抽出箇所②】
16	那珂川町馬頭	H24.1.20～H24.3.23	"	不要木の除去・やぶの 刈払い	那珂川町	5.60	1,559	278	
17	那珂川町健武	H24.1.20～H24.3.23	"	不要木の除去・やぶの 刈払い	那珂川町	5.00	1,403	281	
18	足利市大岩町	H23.2.3～H24.3.26	"	不要木の除去・やぶの 刈払い・歩道整備	足利市	3.00	2,999	1,000	
19	小山市鉢形	H24.1.30～H24.3.15	"	やぶの刈払い、遊歩道 整備	【無】・【無】・【無】・【無】	1.60	1,600	1,000	
20	壬生町上稲葉	H23.9.15～H24.3.9	"	不要木の除去・やぶの 刈払い	壬生町	4.50	4,400	978	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
21	野木町中谷	H24.1.23～H23.3.16	将来まで守り育てる	不要木の除去・やぶの 刈払い	野木町	4.10	4,100	1,000	
22	塩谷町熊の木	H23.9.1～H23.12.28	"	不要木の除去・やぶの 刈払い・案内標識整備	塩谷町	4.26	3,518	826	
23	高根沢町桑窪	H23.12.9～H24.3.21	"	不要木の除去・やぶの 刈払い・歩道整備	高根沢町	2.00	2,000	1,000	
24	鹿沼市加園	H23.9.20～H24.1.10	通学路等の安全・ 安心確保	不要木の除去・やぶの 刈払い	国土交通省国土・環境・建設省	2.16	540	250	
25	日光市弁沼	H24.1.14～H24.3.9	"	枯払い・やぶの刈払い	日光市	3.50	875	250	【抽出箇所③】
26	日光市湯西川	H23.11.14～H24.3.26	"	枯払い・やぶの刈払い	日光市	2.00	500	250	
27	上三川町大字上郷	H23.10.21～H23.11.30	"	やぶの刈払い	上三川町	0.46	115	250	
28	大田原市湯津上	H23.10.12～H24.2.28	"	不要木の除去・やぶの 刈払い	大田原市	7.00	1,750	250	
29	那須塩原市戸田	H23.11.21～H24.1.30	"	不要木の除去・やぶの 刈払い	那須塩原市	7.60	1,554	204	
30	那須烏山市小原沢	H24.1.20～H24.3.23	"	不要木の伐採・やぶの 刈払い	那須烏山市	1.60	400	250	
31	那須烏山市南1丁目	H23.12.14～H24.2.29	"	不要木の除去・やぶの 刈払い	那須烏山市	0.40	100	250	
32	那須烏山市大沢	H23.12.14～H24.2.29	"	不要木の除去・やぶの 刈払い	那須烏山市	1.25	313	250	
33	那須烏山市大木須	H23.12.14～H24.2.29	"	不要木の除去・やぶの 刈払い	那須烏山市	1.25	313	250	
34	那須烏山市熊田	H24.1.20～H24.3.23	"	不要木の除去・やぶの 刈払い	那須烏山市	5.00	1,250	250	
35	那珂川町健武	H24.1.20～H24.3.23	"	やぶの刈払い	那珂川町	2.00	449	224	
36	那珂川町小砂	H24.1.20～H24.3.23	"	やぶの刈払い	那珂川町	2.00	449	224	
37	那珂川町大山田下郷	H24.1.20～H24.3.23	"	やぶの刈払い	那珂川町	1.50	336	224	
38	那珂川町小口	H24.1.20～H24.3.23	"	やぶの刈払い	那珂川町	1.50	336	224	
39	那珂川町栗利①	H24.1.20～H24.3.23	"	やぶの刈払い	那珂川町	2.00	449	224	
40	那珂川町栗利②	H24.1.20～H24.3.23	"	不要木の除去	那珂川町	2.00	449	224	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
41	栃木市藤岡町	H24.2.1～H24.2.14	通学路等の安全・安心確保	やぶの刈払い	栃木市	1.00	202	202	
42	野木町若林・佐川野	H24.1.27～H24.3.16	"	不要木の除去・やぶの刈払い	野木町	3.78	832	220	【抽出箇所④】
43	矢板市玉田	H23.12.15～H24.2.28	"	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	2.00	494	141	
44	鹿沼市口栗野炭谷地区	H23.6.28～H24.2.15	野生獣被害軽減	不要木の除去・やぶの刈払い	口栗野炭谷区自治会	1.51	378	47	
45	鹿沼市荻原田東部地区	H23.11.4～H24.3.5	"	不要木の除去・やぶの刈払い	荻原田自治会	6.52	1,380	212	
46	鹿沼市深程宮入地区	H23.10.25～H24.3.10	"	不要木の除去・やぶの刈払い	深程自治会	6.94	1,735	250	
47	鹿沼市下久我日向側地区	H23.8.27～H23.12.15	"	不要木の除去・やぶの刈払い	下久我自治会	3.65	687	188	
48	鹿沼市上久我第一台地区	H23.9.16～H23.12.15	"	不要木の除去・やぶの刈払い	上久我第一自治会	1.10	275	250	
49	鹿沼市板荷3地区	H24.1.16～H24.3.7	"	不要木の除去・やぶの刈払い	サダマ745スリヤア	0.80	140	175	
50	日光市平ヶ崎	H23.11.1～H23.12.28	"	枝打ち・やぶの刈払い	日光市	3.40	850	250	
51	日光市岩崎	H24.3.7～H24.3.23	"	枝打ち・やぶの刈払い	日光市	3.20	800	250	
52	日光市室瀬	H24.1.20～H24.3.9	"	枝打ち・やぶの刈払い	日光市	5.00	1,250	250	
53	日光市湯西川	H23.11.14～H24.3.26	"	枝打ち・やぶの刈払い	日光市	5.00	1,250	250	
54	日光市下猪倉	H24.1.20～H24.3.9	"	枝打ち・やぶの刈払い	日光市	5.00	1,250	250	
55	日光市横川	H23.9.30～H23.11.15	"	枝打ち・やぶの刈払い	日光市	0.90	225	250	
56	日光市小倉	H23.10.20～H23.12.20	"	枝打ち・やぶの刈払い	日光市	1.10	275	250	
57	宇都宮市冬室	H23.12.16～H24.2.10	"	不要木の除去・やぶの刈払い	宇都宮市	3.00	525	175	
58	真岡市南高岡・青谷	H24.2.16～H24.3.16	"	不要木の除去・やぶの刈払い	真岡市	7.00	1,397	200	
59	益子町小泉	H23.10.30～H24.12.28	"	不要木の除去・やぶの刈払い	益子町	13.28	2,206	166	
60	益子町前沢	H23.11.9～H24.2.29	"	不要木の除去・やぶの刈払い	益子町	3.00	609	203	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
61	茂木町生井・町田	H23.9.22～H24.3.22	野生獣被害軽減	不要木の除去・やぶの刈払い	生井果生里山を守る会	1.50	375	250	
62	茂木町烏生田	H23.10.14～H24.3.14	"	不要木の除去・やぶの刈払い	烏生田の里山を守る会	5.50	1,375	250	
63	茂木町竹原	H23.9.27～H24.2.27	"	不要木の除去・やぶの刈払い	竹原里山保存会	2.00	500	250	
64	茂木町飯	H23.9.15～H24.3.23	"	不要木の除去・やぶの刈払い	いい里づくり協議会	1.00	250	250	
65	茂木町深沢	H23.9.1～H24.2.28	"	不要木の除去・やぶの刈払い	茂木町	1.00	250	250	
66	茂木町林	H23.9.1～H24.2.28	"	不要木の除去・やぶの刈払い	茂木町	1.00	250	250	
67	茂木町山内	H23.9.1～H24.2.28	"	不要木の除去・やぶの刈払い	茂木町	8.00	2,000	250	
68	芳賀町大字稲毛田	H23.11.1～H24.3.14	"	不要木の除去・やぶの刈払い	芳賀町	23.00	4,536	197	
69	大田原市須佐木①	H23.8.24～H24.2.15	"	不要木の除去・やぶの刈払い	大田原市	20.00	5,000	250	【抽出箇所⑤】
70	大田原市須佐木②	H23.9.26～H23.11.10	"	不要木の除去・やぶの刈払い	大田原市	5.00	1,250	250	
71	那須塩原市宇都野	H24.1.10～H24.3.12	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那須塩原市	14.20	2,415	170	
72	那須烏山市横枕	H24.1.20～H24.3.23	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	10.00	2,500	250	
73	那須烏山市下境	H24.1.20～H24.3.23	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	5.00	1,250	250	
74	那須烏山市向田	H24.1.6～H24.3.9	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	5.00	1,250	250	
75	那須烏山市小木須①	H24.1.6～H24.3.9	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	1.50	375	250	
76	那須烏山市小木須②	H24.1.6～H24.3.9	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	3.00	750	250	
77	那須烏山市大沢	H23.12.14～H24.2.29	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	4.00	1,000	250	
78	那須町六斗地	H24.3.8～H24.3.13	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那須町	1.40	350	250	
79	那須町寄居	H24.3.8～H24.3.13	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那須町	1.80	442	246	
80	那珂川町大山下郷	H24.1.20～H24.3.23	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那珂川町	3.00	594	198	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
81	那珂川町小砂	H24.1.20～H24.3.23	野生獣被害軽減	不要木の除去・やぶの刈払い	那珂川町	4.00	791	198	
82	那珂川町富山	H24.1.20～H24.3.23	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那珂川町	4.00	856	214	
83	那珂川町大内	H24.1.20～H24.3.23	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那珂川町	7.50	1,484	198	
84	那珂川町小砂	H24.1.20～H24.3.23	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那珂川町	4.50	890	198	
85	那珂川町健武	H24.1.20～H24.3.23	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那珂川町	6.00	1,283	214	
86	那珂川町和見①	H24.1.20～H24.3.23	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那珂川町	7.50	1,604	214	
87	那珂川町和見②	H24.1.20～H24.3.23	"	不要木の除去・やぶの刈払い	那珂川町	7.50	1,604	214	
88	足利市小俣町	H24.1.23～H24.3.26	"	不要木の除去・やぶの刈払い	足利市	20.00	5,000	250	
89	足利市五十郡町	H23.12.5～H24.2.29	"	不要木の除去・やぶの刈払い	足利市	4.00	1,000	250	
90	足利市大岩町	H24.2.29～H24.3.26	"	不要木の除去・やぶの刈払い	足利市	6.00	1,500	250	
91	栃木市都賀町	H23.12.1～H24.3.16	"	不要木の除去・やぶの刈払い	栃木市	14.20	3,550	250	
92	栃木市西方町元	H24.1.27～H24.3.10	"	枝払い・やぶの刈払い	栃木市	1.10			
93	栃木市西方町本城	H24.1.27～H24.3.10	"	枝払い・やぶの刈払い	栃木市	2.56	5,985	248	
94	栃木市西方町真名子	H24.1.27～H24.3.10	"	枝払い・やぶの刈払い	栃木市	20.50			
95	佐野市秋山町	H23.10.17～H23.12.16	"	不要木の除去・やぶの刈払い	佐野市	6.30			
96	佐野市あくど町	H23.10.17～H23.12.16	"	不要木の除去・やぶの刈払い	佐野市	2.30	2,016	234	
97	矢板市上伊佐野①	H24.1.25～H24.3.16	"	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	5.00	614	123	
98	矢板市上伊佐野②	H24.1.23～H24.2.28	"	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	3.20	442	138	
99	矢板市下伊佐野	H24.1.23～H24.2.28	"	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	1.80	308	171	
100	塩谷町輪生	H23.11.1～H23.12.28	"	不要木の除去・やぶの刈払い	塩谷町	6.00	1,500	250	【抽出箇所⑥】

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
101	市貝町大字田野辺	H23.11.21～H24.3.19	生物多様性モデル	干潟木の除去・やぶの 刈払い・生態調査	市貝町	1.00	1,000	1,000	【抽出箇所⑦】
102	矢板市山田	H24.1.25～H24.3.16	〃	干潟木の除去・やぶの 刈払い・環境整備	矢板市	4.60	3,044	662	【抽出箇所⑧】
集 合 計 (a)						477.65	145,860	305	

事業計画 (b)						472.0	153,467	325	
進捗度 (a)/(b) %						101.2%	95.1%		


とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調査【抽出箇所①】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業)		事業主体	真岡市
所在地	真岡市伊勢崎			
事業概要	事業内容	不要木の除去 歩道整備 看板設置	事業の 必要性	本地区は市街地に隣接するなか、オオムラサキ等が生息する希少な平地林であり、近隣住民による保全活動や活用を促進するため、本事業が必要である。
	整備面積	5.50ha		
	事業費	1,665,000円		
事業の 実施状況				【事業着手前】
				【事業完了後】

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所②】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業)	事業主体	鳴内愛林組合
所在地	那須塩原市鳴内		
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈払い 歩道整備	事業の 必要性
	整備面積	4.00ha	
	事業費	4,000,000円	
事業の 実施状況			
	【事業着手前】		
	【事業完了後】		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所③】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (通学路や住宅周辺の安全・安心確保のための里山林整備事業)	事業主体	日光市
所在地	日光市芹沼地内		
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈り払い	事業の 必要性 通学路沿いの見通しの悪い里山林で あり、通学の安全・安心を確保するた め、やぶを刈り払い、整備する必要があ る。
	整備面積	3.50ha	
	事業費	875,000円	
事業の実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【事業着手前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【事業完了後】</p> </div> </div>		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所④】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (通学路や住宅周辺の安全・安心確保のための里山林整備事業)		事業主体	野木町
所在地	野木町若林・佐川野			
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈払い	事業の 必要性	通学路沿いや住宅地周辺にある里山林がうっそうとしているので、通学児童や周辺住民の安全・安心を確保するため整備する必要がある。
	整備面積	3.78ha		
	事業費	832,000円		
事業の実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【事業着手前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【事業完了後】</p> </div> </div>			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所⑤】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (野生獣被害軽減のための里山林整備事業)	事業主体	大田原市
所在地	大田原市須佐木①(柏久保)		
事業概要	事業内容	不要木の伐採 やぶの刈払い	事業の 必要性 イノシシによる農作物被害が発生している農地周辺の森林であり、今まで隠れ場所となっていたやぶを刈り払い、緩衝帯を造成する事によりイノシシを寄せ付けない環境を創出するため、本事業が必要である。
	整備面積	20.00ha	
	事業費	5,000,000円	
事業の 実施状況			
	<p>【事業着手前】</p>  <p>【事業完了後】</p>		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所⑥】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (野生獣被害軽減のための里山林整備事業)		事業主体	塩谷町
所在地	塩谷町船生			
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈り払い	事業の 必要性	本地区周辺の農地には、最近イノシシの出没が増加し、農作物が被害を受けているため、やぶの刈り払いや不要木の伐採を行い、野生獣が近づきにくい環境をつくる必要がある。
	整備面積	6.00ha		
	事業費	1,500,000円		
事業の実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【事業着手前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【事業完了後】</p> </div> </div>			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所⑦】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (生物多様性モデル林整備事業)		事業主体	市貝町
所在地	市貝町田野辺 サシバの森			
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈り払い	事業の 必要性	本地区周辺は絶滅が危惧されているサシバの繁殖地であり、ニッコウキスゲ等の希少な植物も見られるため、森林の整備を実施し、サシバの生息環境を整備する必要がある。
	整備面積	1.0ha		
	事業費	1,000,000円		
事業の実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【事業着手前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【事業完了後】</p> </div> </div> <p>【平成23年度生態調査結果】</p> <p>植生調査: 10m×10m方形区を3箇所設置 種名、被度、群度の調査 計63種を記録 哺乳類調査: 10/2～10/8、3/8～3/13にかけ、センサーカメラを設置 ノイヌ1頭を確認 鳥類調査: 2/3、2/11の2回定点観察 全14種を確認</p>			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所⑧】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (生物多様性モデル林整備事業)		事業主体	矢板市
所在地	矢板市山田		事業の 必要性	本地区は、ミヤコクナゴが生育するため池があり、毎年、保全活動が行われているが、周辺の森林整備は、適切に行われていなかった。 このため、森林整備等を行って周辺環境の改善を図るとともに、老朽化しているため池の補修等を行う必要がある。
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈り払い ため池補修		
	整備面積	4.60ha		
	事業費	3,043,519円		
事業の実施状況	 <p>【事業着手前】</p>  <p>【事業完了後】</p> <p>【平成23年度生態調査結果】 生息状況調査：ミヤコクナゴ220匹 ドブガイ147個</p>			

【森を育む人づくり】

3. 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業

1 有効性

(1) 木製学習用机・椅子配布事業

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】 木製学習用机・いす配布校 50校の教諭 50名(配布校各1名)	
【実施時期】 平成24年5～6月	
【調査結果】 アンケート対象 50人	
1 今回配布した木製学習用机・いすの材料の「木材」は、栃木県内で何十年も前に植えられた森林の手入れ(間伐)により発生したものです。このことについて、児童・生徒に説明されましたか。	「はい」100%、「いいえ」0%
2 前に使っていたスチール製の机やいすと比べてどうですか。	「木製の方がよい」24%、 「どちらかと言えば木製の方がよい」44%、 「どちらかと言えばスチール製の方がよい」22%、 「スチール製の方がよい」8%、 「どちらでも変わらない」2%
3 木を使うことは、森林を元気にするために大切であることを知っていましたか。	「知っていた」80%、「知らなかった」20%
4 県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思いますか。	「とてもそう思う」78%、「まあまあそう思う」22%、 「そう思わない」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、学校にこの机やいすが整備されてよかったと思いますか。	「とてもよかった」46%、「よかった」36%、 「どちらでもない」16%、「よくなかった」2%

(2) 木製ベンチ配布事業

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】 木製ベンチ配布先:27事業者等 76名(配布先各1名以上)	
【実施時期】 平成24年5～6月	
【調査結果】 アンケート対象 76人	
1 今回配布した木製ベンチの材料の「木材」は、栃木県内で何十年も前に植えられた森林の手入れ(間伐)により発生したものです。このことについて、何らか(パンフレットの設置・配布など)の普及活動を行いましたか。	「はい」100%、「いいえ」0%
2 一般的なスチール製やプラスチック製(以下スチール製)のベンチと比べてどうですか。	「木製の方がよい」70%、 「どちらかと言えば木製の方がよい」25%、 「どちらかと言えばスチール製の方がよい」5%、 「スチール製の方がよい」0%、 「どちらでも変わらない」0%
3 木を使うことは、森林を元気にするために大切であることを知っていましたか。	「知っていた」82%、「知らなかった」18%
4 県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思いますか。	「とてもそう思う」71%、「まあまあそう思う」29%、 「そう思わない」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、あなたの事業所等に木製ベンチが配布されてよかったと思いますか。	「とてもよかった」63%、「よかった」37%、 「どちらでもない」0%、「よくなかった」0%

2 効率性

(1)木製学習用机・椅子配布事業

事業費決算額 (千円) A	配布数量 (セット) B	1セット当たりの事業費 (円/セット) A/B	比 較 対 照
47,934	1,800	26,630	前年度との比較 平成22年度事業実績:26,870円/セット

(2)木製ベンチ配布事業

事業費決算額 (千円) A	配布数量 (基) B	1セット当たりの事業費 (円/基) A/B	比 較 対 照
8,038	500	16,076	他県との比較 A県:30,000円/基

※参考(他県の実施状況)

他県最小値 30,000円/基(A県、仕様:L=1.5m、塗装品、丸太を半割し、背もたれの無いデザイン)

他県最大値 100,000円/基(B県、仕様:L=1.6~1.8m、塗装品、板材で構成され、背もたれのあるデザイン)

本県 16,076円/基(栃木県、仕様:L=1.3m、無塗装、角材を組み合わせ、背もたれの無いデザイン)

3 進捗度

(1)木製学習用机・椅子配布事業

計画 (セット) A	実績 (セット) B	B/A (%)
1,800	1,800	100

(2)木製ベンチ配布事業

計画 (セット) A	実績 (基) B	B/A (%)
500	500	100

【森を育む人づくり】

4. とちぎ森づくり情報センター事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	「とちぎの森づくり」ホームページの平成24年3月末における登録者 201名 (ホームページに情報を掲載できる者)
【実施時期】	平成24年4月
【調査結果】 アンケート対象 80人	
1 このホームページの利用によってあなたやあなたのグループは活動しやすくなりましたか。	「非常に活動しやすくなった」43%、 「活動しやすくなった」27%、 「どちらでもない」30%、「活動しにくくなった」0%
2 このホームページの利用によってあなたやあなたのグループに役立っていますか。	「大いに役立つ」45%、「ある程度役立つ」36%、 「どちらとも言えない」19%、「役立たない」0%
3 これからも森づくり活動に取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取り組みたい」57%、 「これまでと同じように取り組みたい」39%、 「あまり取り組みたくない」0%、「取り組まない」0%、 「わからない」4%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、このようなホームページができてよかったと思いますか。	「とても良かった」57%、「良かった」34%、 「どちらでもない」9%、「良くなかった」0%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	アクセス件数 (件/年) B	1アクセス当たりの事業費 (円/アクセス) A/B	比 較 対 照
9,214	15,404	598	他県との比較 A県:8,873千円、4,258件、2,084円/アクセス

3 進捗よく度

区 分	計画 (人) A	実績 (人) B	B/A (%)	備 考
「とちぎの森づくり」ホームページの登録者数	200	201	101	H24.3末現在までの登録者数

【森を育む人づくり】

5. とちぎ「森の楽校(がっこう)」事業

1 有効性

アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 「森とのふれあい講座」「森づくり講座」「グリーンスタッフ養成講座」 参加者全員 364名(延べ参加者数) 【実施時期】 各講座終了時	
【調査結果】 アンケート対象 281人	
1 講座の内容や体験は、理解できましたか。	「理解できた」72%、「ある程度理解できた」26%、 「理解できなかった」1%、「どちらとも言えない」1%
2 この講座により、森づくりについて理解が深まりましたか。	「非常に深まった」60%、「ある程度理解が深まった」38%、 「あまり理解が深まらなかった」1%、 「これまでとほとんど変わらない」1%
3 この講座は、あなたの今後の森づくり活動に役立ちますか。	「大いに役立つ」68%、「ある程度役立つ」32%、 「あまり役立たない」0%、「役立たない」0%、 「どちらとも言えない」0%
4 今後も森づくり活動や森の大切さの普及活動等に取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取り組みたい」52%、 「これまでと同じ程度に取り組みたい」47%、 「あまり取り組みたくない」0%、「取り組まない」0%、 「わからない」1%
5 とちぎの元気な森づくり県民税により、この講座が行われてよかったと思いますか。	「とてもよかった」60%、「よかった」38%、 「よくなかった」1%、「どちらでもない」1%
アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 「森の体験活動実施」による助成団体(学校)の担当教諭及び指導者研修参加者 83名 【実施時期】 指導者研修終了時及び平成24年3月	
【調査結果】 アンケート対象 77人	
1 この事業により、あなたの団体(学校)は森林環境学習に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取組やすくなった」23%、 「取組やすくなった」72%、「取組みにくくなった」0%、 「どちらとも言えない」4%、無回答1%
2 この取組は、(参加した)子どもたちにとって、役立ちそうですか。	「大いに役立つ」55%、「ある程度役立つ」43%、 「あまり役立たない」1%、「役立たない」0%、 「どちらとも言えない」0%、無回答1%
3 今後も、森林環境学習に取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取り組みたい」41%、 「これまでと同じ程度に取り組みたい」56%、 「あまり取り組みたくない」1%、「取り組まない」0%、 「わからない」1%、無回答1%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われてよかったと思いますか。	「とても良かった」52%、「良かった」43%、 「どちらでもない」1%、「良くなかった」3%、無回答1%
アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 森の子サミット(緑の少年団等の交流による森林体験活動)参加者 67名 【実施時期】 森の子サミット終了時	
【調査結果】 アンケート対象 67人	
1 今日のイベントに参加した感想はいかがでしたか。	「とても楽しかった」85%、「まあまあ楽しかった」15%、 「どちらでもない」0%、「面白くなかった」0%
2 このイベントに参加して、森林について理解できましたか。	「とても理解できた」57%、「ある程度理解できた」42%、 「あまり理解できなかった」0%、 「これまでと殆ど変わらない」3%、無回答1%
3 このようなイベントに、今後も参加したいと思いますか。	「ぜひ参加したい」70%、「どちらかといえば参加したい」24%、 「あまり参加しないと思う」4%、「参加しない」0%、 「わからない」2%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、このイベントが行われてよかったと思いますか。	「とても良かった」66%、「良かった」25%、 「どちらでもない」7%、「良くなかった」0%、無回答2%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	参加者数 (人) B	1人当たりの事業費 (千円/人) A/B	比 較 対 照
11,333	4,722	2	他県との比較 A県：10,338千円、2,575人、4千円/人

3 進ちょく度

区 分	計画 (回・団体) A	実績 (回・団体) B	B/A (%)
開催回数 (回)	20	20	100
助成団体数 (団体)	20	20	100

【森を育む人づくり】

6. とちぎの元気な森づくり県民会議事業

1 有効性

アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 工作教材配布校61校のうち5校の児童 176名(配布数1,300セットの1割以上) 【実施時期】 木工教室体験後及び平成24年3～4月	
【調査結果】 アンケート対象 176人	
1 今回までに、木工工作をしたことがありますか。	「今回が初めて」6%、「1～2回ある」48%、「何回もある」46%
2 今回の木工工作はどうでしたか。	「とても楽しかった」68%、「まあまあ楽しかった」31%、「どちらでもない」1%、「楽しなかった」0%
3 工作の材料である「木」について、どのように感じましたか(複数可)。	「あたたかい感じ」18%、「やわらかい感じ」16%、「色や木目がきれい」32%、「よい香り」32%、「何も感じない」2%
4 ほかに木を使って工作したり、木でできたもの(机やイスなど)を使いたいと思いませんか。	「とてもそう思う」60%、「どちらかといえばそう思う」31%、「どちらでもない」4%、「あまり思わない」5%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、今回の木工工作ができてよかったと思いませんか。	「とてもよかった」63%、「よかった」32%、「どちらでもない」3%、「よくなかった」2%
アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 工作教材配布校61校すべての学校の教諭 61名(配布校各1名) 【実施時期】 木工教室体験後及び平成24年3～4月	
【調査結果】 アンケート対象 61人	
1 今回のような木工工作学習の取組について、先生のこれまでの御経験を教えてください。	「今回が初めて」62%、「数回ある」31%、「何回もある」7%
2 工作の材料である「木」について、先生自身はどのように感じましたか(複数可)。	「あたたかい感じ」32%、「やわらかい感じ」19%、「色や木目がきれい」24%、「よい香り」25%、「何も感じない」0%
3 今回の工作学習を実施して、木の良さや木を使うことの大切さについて、子どもたちの理解は深まったと感じますか。	「非常に深まった」33%、「ある程度深まった」66%、「あまり深まらなかった」1%、「これまでとほとんど変わらない」0%
4 今回のような木工工作学習を、今後も実施したいと思いますか。	「ぜひ実施したい」87%、「どちらかといえば実施したい」13%、「あまり実施しないと思う」0%、「実施しない」0%、「わからない」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、今回の木工工作ができてよかったと思いませんか。	「とてもよかった」77%、「よかった」23%、「どちらでもない」0%、「よくなかった」0%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	配布数量 (セット) B	1セット当たりの事業費 (円/セット) A/B	比較対照
1,365	1,300	1,050	前年度との比較 平成22年度事業実績: 1,096円/セット

3 進捗よく度

計画 (セット) A	実績 (セット) B	B/A (%)	備考
1,300	1,300	100	○配布工作教材1,300セットの内訳: 貯金箱(158)、本立て(590)、飾り棚(161)、 小物入れ(193)、プランター(190)、小箱(8)

【森を育む人づくり】

7. とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	開催回数 (回) B	1回当たりの事業費 (千円/回) A/B	比較対照
726	4回 (うち現地調査2回)	182	他県との比較 A県:1,010千円、5回、202千円/回

【参考】

平成24年度予算 とちぎの元気な森づくり県民税事業 評価対応表

事業名	評価委員会評価	対応状況
とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		
森林バイオマス利用モデル 【新規】	○間伐材の更なる活用の検討	○森林バイオマス利用モデルの 継続（新規扱い）
獣害対策 【拡充】	○効率的な獣害対策の実施の 検討	○被害実態に対応した事業面積 を確保
とちぎ森づくり情報センター事業 【一部拡充】	○ホームページ「とちぎの森 づくり」の内容充実・周知 拡大の具体策の検討	○情報センターの機能強化を図 る「活用促進会議」の開催を 追加

【森を育む人づくり】

8. とちぎの元気な森づくり県民広報事業

1 有効性

アンケート調査の概要 ※平成23年度県政世論調査と同一の質問項目で実施	
【対象及び実施数】	県内各種イベント来場者 のべ469名
【実施時期】	①県植樹祭(5月28日)、②県民の日イベント(6月15日)、 ③エコもりフェア(10月8日、9日)
【調査結果】 アンケート対象 469人	
1 平成20年4月から本県で導入している『とちぎの元気な森づくり県民税』いわゆる森林環境税について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。	「名称も税額も知っており、かつ税の使い道も知っている」15.8% 「名称も税額も知っており、かつ税の使い道もある程度知っている」12.2% 「名称と税額のみ知っている」6.8% 「名称は知っているが、税額は知らない」29.0% 「名称も税額も知らない」33.3% 「無効回答」3.0%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	納税義務者数 (千人) B	1人当たりの事業費 (円/人) A/B	比 較 対 照
6,294	975	6.5	他県との比較 A県:4,197千円、1,077千人、3.9円/人

3 進ちよく度

計画 (回) A	実績 (回) B	B/A (%)
・パンフレット作成 60,000部	・パンフレット作成 65,000部	108
・テレビ、ラジオ 102回	・テレビ、ラジオ 102回	100
・税事業実施箇所バスツアー 4回	・税事業実施箇所バスツアー 4回	100
・-	・普及啓発用DVD焼付 600枚	皆増
・横断幕	・横断幕作成 50枚	-

【森を育む人づくり】

9. 森づくり活動地域支援事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業を実施したすべての市町 17市町
【実施時期】	平成24年4月
【調査結果】 アンケート対象 17市町	
1 この事業はあなたの市町の森づくり行政や森林環境教育行政に役立ちましたか。	「非常に役立った」59%、「役立った」41%、「役立たなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
2 この事業により、あなたの市町は森づくりや環境森林教育に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取り組みやすくなった」24%、「取り組みやすくなった」76%、「これまでと変わらない」0%、「どちらでもない」0%
3 この事業を実施して団体や県民の反応はいかがでしたか。	「非常に好評であった」41%、「好評であった」59%、「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
4 今後もこの事業を積極的に活用しますか。	「大いに活用する」47%、「活用する」53%、「活用しない」0%、「未定」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われたことはよかったですか。	「非常に良かった」65%、「良かった」35%、「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」0%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	実施団体数 (団体) B	1団体当たりの事業費 (千円/団体) A/B	比較対照
11,506	50	230	他県との比較 A県:8,656千円、32団体、271千円/団体

3 進捗度

計画 (市町) A	実績 (市町) B	B/A (%)
17	17	100

【森を育む人づくり】

10. 木の香る環境づくり支援事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業を実施したすべての市町 19市町(施設整備5、間伐材有効利用4、木の良さ普及啓発19)
【実施時期】	平成24年5～6月
【調査結果】 アンケート対象 19市町	
1 この事業はあなたの市町における環境森林行政に役立ちましたか。	「非常に役立った」42%、「役立った」58%、 「役立たなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
2 この事業により、あなたの市町は木の良さ普及啓発に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取り組みやすくなった」21%、 「取り組みやすくなった」68%、 「これまでと変わらない」11%、「どちらでもない」0%
3 この事業により実施(支援)したことによる市町民等の反応はいかがでしたか。	「非常に好評であった」47%、「好評であった」53%、 「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
4 今後もこの事業を積極的に活用したいと思いますか。(木の良さ普及啓発事業)	「大いに活用したい」63%、「活用したい」37%、 「活用したくない」0%、「未定」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われたことはよかったですか。	「非常に良かった」47%、「良かった」53%、 「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」0%

2 効率性

施設整備事業 ()書きは間伐材 有効利用を含んだもの	事業費決算額 (千円) A	県産材使用量 (m ³) B	1m ³ 当たりの事業費 (千円/m ³) A/B	比較対照
	21,331 (22,968)	26.2 (49.4)	814 (465)	前年度との比較 平成22年度事業実績:421(305)千円/m ³
木の良さ普及 啓発事業	事業費決算額 (千円) A	参加者数 (人) B	1人当たりの事業費 (千円/人) A/B	比較対照
	4,686	6,118	0.8	前年度との比較 平成22年度事業実績:0.8千円/人

3 進捗よく度

区分	計画 (施設・回) A	実績 (施設・回) B	B/A (%)	備考
施設整備事業等 (施設)	9	9	100	施設数5、間伐材利用4
木の良さ普及啓発事業 (回)	103	103	100	イベント等実施回数

【森を育む人づくり】

11. 特色ある緑豊かな地域推進事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	森づくり活動参加者 153名
【実施時期】	随時
【調査結果】 アンケート対象 153人	
1 今回の活動により、森づくりについて理解が深まりましたか。	「非常に深まった」48%、「ある程度理解が深まった」49%、「あまり理解が深まらなかった」1%、「これまでとほとんど変わらない」3%
2 今回の活動は、あなたの今後の森づくり活動に役立ちますか。	「大いに役立つ」54%、「ある程度役立つ」42%、「あまり役立たない」1%、「役立たない」1%、「どちらとも言えない」2%
3 今後も森づくり活動等に取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取り組みたい」36%、「これまでと同じ程度に取り組みたい」61%、「あまり取り組みたくない」1%、「取り組みない」1%、「わからない」1%
4 今回の活動は、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して行っています。これらの活動が「とちぎの元気な森づくり県民税」により行われてよかったと思いますか。	「とてもよかった」54%、「よかった」42%、「よくなかった」2%、「どちらでもない」2%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	参加者数 (人) B	1人当たりの事業費 (千円/人) A/B	比較対照
1,600	5,192	0.3	他県との比較 A県:2,336千円、1,361人、1.7千円/人

3 進捗よく度

計画 (市町) A	実績 (市町) B	B/A (%)
2	2	100

とちぎの元気な森づくり県民税事業の実施状況(平成20年度～平成23年度)

事業名/事業内容		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	累 計
元気な森づくり	1 とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業					
	間伐面積	計画 2,050ha	2,627ha	2,827ha	2,380ha	9,884ha
		実績 2,078ha	2,663ha	3,302ha	2,424ha	10,467ha
	獣害対策面積	計画 —	357ha	240ha	200ha	797ha
		実績 —	357ha	320ha	200ha	877ha
	森林バイオマス利用モデル面積	計画 —	—	36ha	36ha	72ha
		実績 —	—	37ha	39ha	76ha
	2 明るく安全な里山林整備事業					
	整備面積	計画 780ha	664ha	579ha	472ha	2,495ha
		実績 533ha	700ha	638ha	478ha	2,349ha
森を育む人づくり	3 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業					
	木製学習用机・椅子配布数	計画 1,800セット	2,000セット	2,000セット	1,800セット	7,600セット
		実績 1,800セット	2,000セット	2,000セット	1,800セット	7,600セット
	木製ベンチ配布数	計画 —	—	500基	500基	1,000基
		実績 —	—	500基	500基	1,000基
	4 とちぎ森づくり情報センター事業					
	「とちぎの森づくり」ホームページの登録者数	計画 30人	100人	150人	200人	200人
		実績 28人	56人	113人	201人	201人
	5 とちぎ「森の楽校」事業(※1)					
	開催回数	計画 16回	16回	20回	20回	72回
		実績 16回	16回	20回	20回	72回
	助成団体数	計画 24団体	23団体	20団体	20団体	87団体
		実績 24団体	23団体	21団体	20団体	88団体
	6 とちぎの元気な森づくり県民会議事業					
	木工工作教材配布数	計画 1,000セット	1,000セット	1,300セット	1,300セット	4,600セット
		実績 1,076セット	1,000セット	1,300セット	1,300セット	4,676セット
	7 とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業					
	開催回数	計画 5回	4回	4回	4回	17回
		実績 5回	4回	4回	4回	17回
	8 とちぎの元気な森づくり県民広報事業					
	パンフレット作成数	計画 50,000部	43,000部	60,000部	60,000部	213,000部
		実績 50,000部	43,000部	58,000部	65,000部	216,000部
テレビ、ラジオCM放送回数	計画 288回	180回	206回	102回	776回	
	実績 288回	188回	206回	102回	784回	
9 森づくり活動地域支援事業(※2)						
実施市町数	計画 12市町	16市町	19市町	17市町	64市町	
	実績 8市町	16市町	19市町	17市町	60市町	
10 木の香る環境づくり支援事業						
施設等整備数	計画 5施設	12施設	8施設	9施設	34施設	
	実績 5施設	12施設	8施設	9施設	34施設	
イベント実施回数	計画 66回	64回	111回	103回	344回	
	実績 67回	64回	111回	103回	345回	
11 特色ある緑豊かな地域推進事業						
実施市町数	計画 —	5市町	3市町	2市町	10市町	
	実績 —	5市町	3市町	2市町	10市町	

※1 H22年度に「森林環境学習推進事業」を吸収。20年度と21年度の助成団体数は、「森林環境学習推進事業」の計画と実績を記載。

※2 H22年度に「みんなの元気な森づくり支援事業」と「森林環境学習支援事業」を統合し、事業名を変更。20年度と21年度の実施市町数は、「みんなの元気な森づくり支援事業」の計画と実績を記載。

● 税事業の実施方法及び今後のあり方に関する主な意見

1 全般

- 事業の有効性をより正確に評価できるよう、アンケート調査の設問や選択肢等について工夫する必要がある。
- 企業からも税が納付されていることを踏まえ、さらに企業と連携を図る事業を検討する必要がある。

2 奥山林整備事業

- 獣害対策について、国や他県等の実施状況、地域の意向等を踏まえ、より効果的な方法を検討する必要がある。

3 里山林整備事業

- 野生獣被害軽減のための里山林整備による効果について、地域住民が実感し、意欲を持って継続的に管理していけるよう、事業効果を分かりやすく示していく必要がある。

8 とちぎの元気な森づくり県民広報事業

- 県民への広報について、インターネットを活用するなど、より効果的な方法を検討すること。

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

1 委員一覧（五十音順 敬称略）

入江尚見	公募委員	
小野ナツ	栃木県地域婦人連絡協議会会長	
古口連也	茂木町長	
児玉博昭	白鷗大学法学部教授	(委員長職務代理)
小林和美	公募委員	
齋藤正	林業者	
荘司円香	弁護士	
高齋吉明	株式会社とちぎテレビ常務取締役	
高村正勝	日光市森林組合代表理事組合長	
新嶋高行	2000年記念の森の会運営副委員長	
藤生明男	栃木県中小企業団体中央会専務理事	
山口厚江	日本大学・作新学院大学非常勤講師	

2 委員会の開催経過

平成24年度

第1回	平成24年 7月 5日(木)	
		平成23年度事業実施箇所の現地調査
第2回	平成24年 8月 9日(木)	
		平成23年度事業評価資料(案)に関する意見交換

